

Frontier-21

福井法人会青年部会報 フロンティア21

- 第二十六回「定時総会」開かれる
- 岩崎会長に聞く!
- 親子ふれあい事業
- エコな時代のホットな講演!「学校エコ改修と環境教育事業」
- 親睦ボウリング大会
- 新入会員オリエンテーション
- 卒業生を送る会



第二十六回「定期総会」開かれる



平成二十二年五月十九日(水)
午後五時より、ホテルフジタ福
井・葵の間において、第二十六
定期総会が開かれました。
始めに岩崎会長から、ご挨拶
と、一年間の青年部会活動の総
括のあと、ご来賓としてご臨席
賜りました、福井税務署署長
五十里巧様、福井税務署筆頭副
署長 七田伸義様、法人課税第
一部門統括国税調査官 酒師洋
様のご紹介を行い、議案の審
議に入りました。



最後に福井税務署署長 五十
里巧様よりご祝辞をいただき、
遅く閉会いたしました。そ
の後、別室に移動し意見交換会
が行われ、今年度で卒業される
方々の紹介や、恒例のbingo大
会で盛り上りました。(山田)

岩崎会長が議長となり、平成
二十一年度事業報告、収支決算
報告や、平成二十二年度事業計
画（案）、収支予算（案）が審
議され、全て承認されました。
続いて、会員増強に貢献された
会員七名の方に記念品贈呈が行
われ、全法連青年部会連絡協議
会、平成二十一年度租税活動表
彰において、金沢局を代表して工
ントリー、みこと優秀賞を受賞
した「親と子の税金クイズ・親
子ふれあいコンサート」活動の
プレゼンテーションが行われま
した。

特別インタビュー

岩崎会長に聞く！

会長／岩崎 新 聞き手／大谷広智委員長



大谷「今日はよろしくお願ひします。さて青年部会の会長に就任されて一年が経ちましたか？印象に残った事業、エピソードなどあれば教えてください。」

岩崎「あつという間の一年でした。昨年度は特に大きな行事が二つありました。何といつても全青連の租税教育活動発表で優秀賞をいただいたことが印象に残っています。

総務委員会を中心に大変苦労しましたが、思いがけない賞をいただき、みんなで喜びを分かち合えたことをうれしく思っています。もう一つは興青連二十周年記念事業です。また私が会長の時に巡ってきた事業でしたが、何とか成功させたいという思いで取り組みました。歴代会長の苦労話なども聽けて、今日、青年部会があるのも諸

先輩のおかげだと改めて感謝した次第です。大谷「会長の掲げた『プラスワン』、大変明快なメッセージで心に響くものがありますが、手応えはいかがですか？」

岩崎「皆さん積極的に行事に参加いただいたと感じております。おかげさまでいろいろな事業の参加人数が増えました。少しずつ漫透してきたかなと実感しています。今まで一度も参加したことのない方が気軽に来られるような企画をどんどんやっていきたいですね。」

大谷「今年はどのような事業を予定していますか？またその中で会長ご自身が力を入れているものはござりますか？」

岩崎「昨年度みたいに大きな事業はありませんが、今年は、研修委員会が岐阜・奈良方面への研修旅行を企画しています。前回は

長野の伊那食品工業様の工場見学でしたが、今回も企業訪問があるようで、大いに刺激を受け今後の経営の参考になればと楽しみにしています。また今年の全国青年の集いは十月十五日に福井で開催されます。どちらも積極的に参加いただきたいと思っています。」

大谷「会長はいろいろな事業に精力的に取り組んでおられます。会長が思い描いている将来の青年部会像をお聞かせください。」

岩崎「法人会の基本理念は『税知識の普及、納税意識の高揚』です。我々青年部会は地域社会への貢献活動として、特に日本の未来を担う子供たちに対する租税活動を続けていきたいと考えています。子供たちが『税の仕組み、税の大切さ、税の使われ方』を知ることで、国や地域社会を愛する気持ちが育っていくといいます。子供たちが

「税の仕組み、税の大切さ、税の使われ方」を知ることで、国や地域社会を愛する気持ちが育っていくといいます。また福井法人大会青年部会としては、何年後にチャンスが回ってくるかは分かりませんが、是非全国大会を福井で開催してほしいと思っております。そんなパワーを持った青年部会になります。そんなパワーを持つた青年部会になることを期待しています。」

大谷「最後になりますが、今年の意気込みと会員の皆様にメッセージをお願いします。」

岩崎「今年も『プラスワン』で行きます！ぜひ皆さん去年より一回でも多く行事に参加してください。経済界や会社を担う若いリーダーが集まる場として、お互いに切磋琢磨し、今年も盛り上げていきましょう！」

親子ふれあい事業

平成二十二年一月十六日(土)、福井フェニックスプラザ大ホールで、毎年恒例の地域社会貢献活動の一環である「親子ふれあい事業」が開催されました。

この親子ふれあい事業は一日二回開催されており、今年も延べ三千五百名の親子が参加しま

した。内容は第一部と第二部に分かれており、第一部では青年部会が租税教育活動の一環として企画運営する「親と子の税金クイズ」が行なわれました。会場に来られている子供たちを対象に、税に関する問題を○×形式で数問出題するクイズです。



子供たちには舞台上に上がつてもらい、舞台上を○と×に区切りながら、それぞれの子供たちが正しいと思う方へ動いてもらいます。正解者はそのまま残ってもらい、最後まで残った子供たちにはちょっとしたご褒美が当たります。正解者はそのまま残っています。子供たちは楽しんでもらいなおうという試みで、毎年行なっているのですが、子供向けの税金にも関心を持つてもらおうといえ大人が考えても難しい問題もあり、お父さん、お母さんにとっても勉強になつたのではないか。参加した子供たちも一つ一つの問題を一生懸命考えながらワイワイ盛り上がり、大変微笑ましい光景でした。そして、最後のクイ

ズまで全問正解したお子さん達はご褒美の景品を受け取り、とても喜んでいました。

また、第二部では中国雜技団を招き、普段はちょっと見られない曲芸の数々を見ることができました。また、見ている間もハラハラドキドキの大技が繰り返され、手に汗握る緊張の連続でした。

参加された親子の皆様は大変充実された一日を過ごされたのではないでしょうか。企画運営に参加された青年部会の会員の方々もお疲れ様でした。(高村)

Frontier-21

真面目part 1

エコな時代のホットな講演！「学校エコ改修と環境教育事業」

毎年恒例！

親睦ボウリング大会

平成二十二年三月十一日(金)、真価整パート13が寿々屋にて開催されました。今回の研修会は、エコフローサポート本部の小田切直子氏を講師にお招きし、「学校エコ改修と環境教育事業」についてお話をいただきました。

「学校エコ改修と環境教育事業」は、平成十七年度より環境省の事業として実施されており、福井県では坂井市立鳴鹿小学校、三方町立三方中学校の二校がモデル校の指定を受け、両校で行った取り組みを中心に説明をしていただきました。「エコ改修」という言葉から、冷暖房効率を考慮した改修工事や節水、ソーラーパネルを利用した発電などを想像していましたが、この事業の取り組みではハード面(工事)だけではなく、ソフト面(教育・運用)の取り組みも重視してCO₂の削減に取り組んでいたとの事でありました。

改修にあたっては一年目では学び(研修)、二年目で考えを共有(設計)、三年目で実践(改修)と三年計画で取り組むことから、設計事務所をはじめとする各業者も毎回研修会に参加し



なければならぬことでした。そして、研修段階から生徒や教師も参画して改修の構想を練り上げていく事など、技術者のみならず学校関係者も共に学んで地域特性を生かした「エコ改修」を行ってきたことを伺い、将来にわたって運用していくうえで多くの関係者が携わり、知識と考え方を共有していくことが大切だと知ったことができました。

また、最後の講師への質問の時間では、「環境省の事業との事であるが、文科省との連携を図って耐震補強と一緒に改修できないものか。」「防犯面も考慮した改修も可能ではないか。」など積極的な意見も出て、当初予定した時間をオーバーし、その後の懇親会の場でも議論が続きました。

(吉藤)

平成二十二年一月二十六日(金)、ウェーブ40にてボウリング大会が開催されました。二十三名の参加者で白熱した熱い戦いとなりました。大会三連覇を狙う花沢氏はマイボール・マイシューズを持ち込む意合いで参戦。しかし1ゲーム目は結果がついてこず145ピン。ここでトップに躍り出たのが岡崎元会長の191ピン。続いて吉岡元会長の180ピン・大谷氏の178ピン。岩崎会長も150ピンとまずのスコアで上位を狙っています。2ゲーム目に入り調子を取り戻す花沢氏に対し、疲れが見え始める岡崎氏。ワイワイ

れきった体をバイキングに舌鼓を打ちながら癒していました。花沢氏が打ちながら癒していました。花沢氏が見え始める岡崎氏。ワイワイ花沢氏・川口貴義氏の四名で構成された会員チームが団体優勝となりました。参加されたみなさん、本当に疲れさまでした。(小寺)



2ピンの花沢健一郎氏、3位は325ピンの山本俊正氏という結果となりました。岡崎氏は8ストライク・6スペアで花沢氏は4ストライク・12スペア。1ゲーム目の不調できつちとス

トライクを取りきれなかつた花

沢氏が惜しくも大会三連覇を逃

してしまいました。

ゲーム終了後、参加されたみ

なさんは、ゲストルームにて疲

れきった体をバイキングに舌鼓

を打ちながら癒していました。

花沢氏・川口貴義氏の四名で構成さ

れた団体戦も同時に行なわれ、大谷

佳弘氏・岡崎幸誠氏・吉岡正盛

氏・川口貴義氏の四名で構成さ

れた団体戦も同時に行なわれ、大谷

毎年恒例！

新入会員オリエンテーション



平成二十二年三月十九日(金)、
ピリケンにて新入会員オリエン
テーションが開催されました。
岩崎会長をはじめ各委員会の委
員長、そして平成二十二年度の
新入会員九名を含めた十八名に

参加いただきました。
はじめに岩崎会長から青年部
会の綱領や事業目的などの説明
があり、今年のスローガンであ
る「プラスワン」に基づき一つ
でも多くの事業に参加し、自己
研鑽、仲間づくりの場にしてほ
しいとの熱いメ

ッセージが贈られました。続い
て各委員会から詳しい事業説明
があり、各委員会の魅力をPRして
いただきました。

新入会員の皆さまの自己紹介
のあと、会員手帳の授与が行
われ閉会しました。新しい仲間
が増え、青年部会が益々活気づく
ことが予感させられるオリエン
テーションとなりました。

(大谷)

毎年恒例！

卒業生を送る会



平成二十二年三月十九日(金)、
ピリケンにて卒業生を送る会が
開催されました。今年度の卒業
生は八名いらっしゃいますが、
岡崎幸誠氏、伊尾慶市氏、高橋
英夫氏の三名がご参加ください
ました。総勢四十六名という大
変多くの会員に出席いただきました。
岩崎会長から卒業生に対する
お礼とねぎらいの挨拶のあと、
瀧波副会長による乾杯で和やか
な宴が始まりました。卒業生の

方を囲んで思い出話に花開く場面もありました。
岩崎会長から出席いただいた卒業生の方一人
一人のエピソードとともに記念品の授与があ
りました。また卒業生三名の方からも、法人
会青年部会での思い出や、熱いメッセージを頂戴
しました。我々残る会員に対する叱咤激励を
心に受け止め、益々青年部会を盛り上げてい
かなくてはいけないと感じました。

卒業される皆様、今後とも法
人会青年部会に対してご指導ご鞭
撻のほどよろしくお願ひいたし
ます。大変お疲れさまでした。
ありがとうございました。(大谷)
卒業生の皆さまは次の通りです。
◆酒井 ◆岡崎 ◆伊尾 慶市 ◆高橋 英夫
◆九住 幸誠 ◆辻本慎太郎
◆清草 章夫 ◆西端 順一
◆西村 治 (敬称略)

★県外視察研修旅行のご案内

見て！知つて、 体験する研修旅行

8/10□
11日

今は、見て、知つて、体験して、得する研修旅行となるよう計画しています。

初回は、岐阜県大垣市にある未来工業(株)様の工場見学、二回目は奈良遷都千三百年祭をはじめ、奈良の名所旧跡を見学する予定です。
詳しくは、別途案内させて頂きりますので、奮ってご参加頂けると幸いです。

▼見学予定の未来工業(株)様本社に隣接している大垣工場。



「フロンティア」が、 ホームページで閲覗できます!

- ①福井法人会ホームページにアクセスします。
- ②メニューの「青年部会」をクリックします。
- ③次に、「会報誌」をクリックします。



各号の表紙を
クリック!

■福井法人会ホームページ
www.fukui-houjinkai.or.jp

新入会員者紹介

(平成22年1月～平成22年6月入会)

■大瀧 敏郎

医療法人「ハーフティア」
医療・福祉業
事務長

昭和41年10月5日
福井市大通寺3-9-10
昭和44年2月22日

■小谷 哲治

株式会社「タツセイ」
建設工業(株)
鉄鋼業
営業部長

昭和45年5月14日
福井市河端町30-20
昭和45年6月14日

■田中 隆介

(株)タツセイ
建材卸・内装工事業
取締役経営企画室室長

昭和45年7月18日
福井市西開発3-1-407
昭和45年8月18日

■大脇 直弘

(株)大脇萬歳商店
卸売業
営業開発室長

昭和53年12月27日
福井市宇水4-7-2
昭和53年12月27日

■柴田 康宏

A-IU保険会社
保険業
支店長

昭和49年4月20日
福井市今立2-2407
昭和49年4月20日

■寺尾 昌道

奇尾特需産業(株)
自動制御装置・制御機器販売業
代表取締役

昭和47年7月18日
福井市西開発3-1-407
昭和47年8月18日

■長田 光広

長田タイヤ(株)
各種タイヤ販売・修理業
代表取締役

昭和45年6月16日
福井市下森田町2-7-1
昭和45年7月16日

(本籍地) ● 出生 ● 活乞 ● 異業 ● 会籍 ● 会員登録 ● 会員登出

【会員登録】
● 本籍地...大垣市安...開設業者...山田実業...小寺洋行
● 業...櫻木克博/櫻木宏信/五十嵐義典/佐藤和也
中島清志/児島義和/中西義和/吉澤義和
吉澤義和/長田泰一/田代一/中西義和
高石尚一/高崎英和/平野敏/木多会貴
森田恭祐/森...三川原/山田義勝/高田義和
佐藤和也/高橋義和/中西義和/吉澤義和





めざします 企業の繁栄と社会への貢献